

指定管理者候補者の選定結果について

北区健康福祉課所管の老人憩の家について、施設の設置目的を効果的に達成するものとして以下のとおり指定管理者候補者を選定しました。

施設名	新潟市老人憩の家阿賀浜荘	新潟市老人憩の家新崎荘
所在地	新潟市北区三軒屋町10番6号	新潟市北区新崎3丁目1番26号
区分	非公募	
施設の概要	新潟市老人憩の家阿賀浜荘は、老人の健康を保持し、その福祉の増進を図ることを目的として平成3年3月に設置された施設である。施設は、大広間、浴室等を有しており、健康づくりや交流の場としての機能を果たしている。	新潟市老人憩の家新崎荘は、老人の健康を保持し、その福祉の増進を図ることを目的として昭和63年3月に設置された施設である。施設は、大広間、浴室等を有しており、健康づくりや交流の場としての機能を果たしている。
指定管理者申請者 評価会議	委員 風間 良光 (風間良光税理士事務所所長・有限会社風間会計社代表) 委員 坂井 浩明 (坂井社労士事務所代表) 委員 田邊 理美 (地域包括支援センター阿賀北 センター長) 委員 藤田 清明 (北区社会福祉協議会会長) 委員 渡邊 敏文 (新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授)	
指定管理者 (候補者)	松浜自治振興会 代表者 会長 神田 征男 住 所 新潟市北区松浜1丁目 7番地9	濁川地区自治振興会 代表者 会長 赤間 松次 住 所 新潟市北区新崎2607 番地3
指定期間 (予定)	令和8年4月1日～令和13年3月31日	
選定理由	指定管理者候補者の選定にあたっては、申請者から提出を受けた事業計画書等の資料をもとに、指定管理者申請者評価会議において、事業計画、事業提案、収支計画等について評価の視点に基づき評価を行った。 その後、評価会議における各委員からの意見や評価結果を参考に総合的に検討した結果、上記申請者は指定管理者としての業務遂行能力を有するとして、指定管理者候補者に選定することとした。なお、候補者選定の参考とした評価会議における評価結果は別表のとおりである。	
現在の指定管理状況との主な 変更点	地元の団体が指定管理者になることで地域の要望を把握でき、地域が望む事業を実施できる。また、地域と連携して施設の活用・PRを行うことで、利用促進が期待できる。	
スケジュール	第1回評価会議 6月17日 ※業務仕様書等の確認 申請書類受付 12月16日	申請書類受付 12月25日 第2回評価会議 1月13日 ※申請者提出書類の評価 今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。
所管部署 (問い合わせ先)	北区 健康福祉課 高齢介護係 TEL : 025-387-1325 (直通) E-mail : kenko.n@city.niigata.lg.jp	

【参考】現指定管理期間の評価（令和7年4月～令和8年3月）

指定管理者	新潟市北地区老人憩の家管理運営委員会
総評	良好な施設サービスの提供を継続している。施設管理が行き届き、利用者が心地よく安全に利用できる環境を整えている。利用者満足度も高く、コスト削減意識をもち経費節減に努めた管理運営を行っており、指定管理者として優良と評価する。

別表（評価結果）

	選定基準・評価項目	評価の視点	阿賀浜荘		新崎荘		
			適	否	適	否	
評価表による評価	施設の平等利用の確保	指定管理者制度導入指針の観点	5	0	5	0	
		管理運営の基本方針	5	0	5	0	
		施設の管理方法	5	0	5	0	
	施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られる	事業実施	施設の設置目的の達成や利用促進、多世代交流を図るための事業の実施が計画されているか。	5	0	5	0
		利用者への配慮	地元施設として、利用者が快適に施設を利用できるよう十分な配慮がなされているか。	5	0	5	0
		要望や苦情に対する対応	要望や苦情を受けるための体制が整備され、要望等に適切に対応できるか。	5	0	5	0
		予算の執行体制	適正な予算執行ができるか。経費削減に努めているか。	5	0	5	0
		利用料金に対する考え方	利用料金を徴収・管理・活用することに対する考え方が適切であるか。	5	0	5	0
	事業計画に沿った管理を安定して行う能力	事故防止や緊急時の対応	事故防止に努める計画が示されているか。また、緊急時の対応が整備されているか。	5	0	5	0
		個人情報の管理体制	個人情報の保護に対して高い意識を持ち、適切な取り扱いを行えるか。	5	0	5	0
		賃金水準スライドの反映方法	賃金スライドにより算出された指定管理料を、施設従業員にどのように還元していくか。	5	0	5	0
		地元経済振興及び雇用確保の取組み	新潟市民の雇用確保にどのように取り組むか、再委託や物品調達において、市内の中小企業への発注・活用をどのように取り組むか。	5	0	5	0
総合評価			5	0	5	0	

※適・否欄の数は、評価会議委員（5名）が「適」または「否」と評価した人数。